

第6回 新潟県 新・総合計画策定検討委員会 議事概要

1 議事概要

- (1) 日 時：平成29年11月22日（水）13:30～15:30
- (2) 会 場：新潟県自治会館 別館9階 ゆきつばき
- (3) 議 事：(1) 達成目標（成果指標）について
(2) 計画（案）について
- (4) 出席者：委員25名中、15名出席

2 議事要旨

■ 達成目標（成果指標）について

ア 事務局説明

- 資料1により、達成目標（成果指標）について説明を行った。

イ 主な意見

(ア) 全般的事項について

- これまでの委員会の議論を踏まえ、いろいろな角度から詳細にわたり検討されており妥当である。
- 関係団体と連携していくことについても、きちんと記述されている。
- 他県との比較などで、内容的にソフトな書きぶりとなっているところもあるので、今後、進捗状況を厳しく見ていく中で目標を達成していかってほしい。
- 指標としては妥当であるが、指標だけでは表すことができない、様々な政策の目標もあることから、それらも念頭に置きながら計画全体を見ていただきたい。
- 指標によって各政策の評価がされることになるが、今後、時代の変化による見直しや指標の追加についても検討していただきたい。
- 農林水産業の指標が、政策プランの指標数の半分程度に絞り込まれており、おおまかに捉え平板的にも見えるが、上位計画では絞り込みも必要であり妥当と考える。
今後、下位計画を立てる際には、今回議論してきた課題等も踏まえて指標等を盛り込んでほしい。
- 市町村からの意見もできる限り修正いただいております、市町村としても県が進めていることについて理解しているので、今後も連携した形で進められる流れになっているのではないかと。

(イ) 個別事項について

- 4(1)②「条件不利地域において居住している地域に住み続けたいと考えている住民の割合」
目指す姿では就業や必要な生活サービスの維持に取り組むとなってい

るが、買い物や公共交通機関の利便性だけに限らず、耕作放棄地の増大など、全体を踏まえて過疎地域等の活性化に結びつけるという観点でアンケートの取り方を考えてもらいたい。

○ 5(1)②「高等学校における経済的理由による中途退学者の人数」

全て0人となっているが、本県の高校中退率は他県よりも高いという状況もあり、これが適切に評価できる指標なのか、数値の根拠、把握の方法も含めて改めて検討いただきたい。

■ 計画（案）について

ア 事務局説明

- 資料2により、計画（案）について説明を行った。

イ 主な意見

(7) 第5章「人口問題への対応」について

〔達成目標について〕

- 数値で目標設定されておりわかりやすいものとなっている。
- 改善数は、5,900人が先にあったものではなく、現状をベースとして、そのまま推移した場合の数値と政策の効果によって目標が達成された場合の数値との差という理解でよいか。
- 出生率1.8という大きな目標を掲げているが、各市町村の人口ビジョンとの整合が図られているのか。

〔政策展開の基本方向等について〕

- 県民に対してどのような課題がありどのように取り組むのかを示すのが計画の本旨であり、課題、目標、政策の展開・取組が盛り込まれており、方向付けはよく出来ているのではないか。
- 人口減少問題を解決するためには、現状と課題の分析に基づくスタンダードな政策だけでは、少し物足りなさを感じる。県のリーダーシップと、市町村、民間、県民とのパートナーシップをどう構築していくのかという理念や、もっと特色のある政策が必要なのではないか。
- 人口が減っても暮らしていける、首都圏よりも豊かな暮らしができるといったメッセージを出して伝えていくことが、社会動態の成果につながっていくのではないか。
- 近隣県との比較で、大学の収容力の差と転入超過数とが相関関係にあるのであれば、対応方向性に収容力の増加が出てこないのは何か理由があるのか。
- 教育現場においては若い人は1回都会に出るのが当たり前になっており、小学生等のうちから、そのマインドを変えていかなければならず、そのような点も計画に盛り込むべき。

(イ) その他について

〔第3章「基本理念」について〕

- 県としての認識として、知事公約との関係について具体的な記述が追加されており適切である。
- 住民参加への責任として、市町村や関係団体、NPO等との連携・協働を責任を持って進めていくと記述したことは評価するが、具体的にどのように取り組んでいくのかが重要であり、県がイニシアチブをとって住民参加を進めていただきたい。
- 新潟県がどのような県になるのか、他県に負けないこういうものを目指すとといった、県民に対する旗振りとなるような、ポジティブなキャッチコピーがあってもよいのではないか。

〔評価について〕

- 8年後に政策評価を踏まえて次の計画ができるように考えていっていただきたい。特に人口減少問題への対応は、部局横断的な対応となっていることから、今後、政策の改善につながるような評価を進めていただきたい。

3 その他

- 議事終了後、事務局より今後の予定として、第2回パブリックコメントの実施及び第7回検討委員会の開催について説明を行い、出席した委員全員から了承を得た。

以 上